

青少年によるSNS利用の実態と 安全利用に向けた対策について

2022.12.16

山口 真一 博士（経済学）

国際大学GLOCOM准教授

syamaguchi@glocom.ac.jp

<https://www.facebook.com/SYamaguchi01>

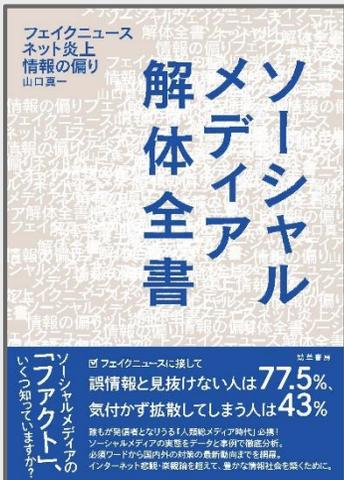


国際大学GLOCOM 准教授

- 東京大学 客員連携研究員
- シエンプレ株式会社 顧問
- 日本リスクコミュニケーション協会 理事
- 株式会社エコノミクスデザイン シニアエコノミスト
- 日本経済新聞Think!エキスパート
- グリー株式会社 アドバイザリーボード
- 株式会社メルカリ アドバイザリーボード
- Polimill株式会社 アドバイザー
- クリエイターエコノミー協会 アドバイザー
- 科学技術・学術政策研究所 (NISTEP) 専門調査員
- 早稲田大学ビジネススクール 兼任講師
- 中央大学国際情報学部 兼任講師
- 東洋英和女学院大学国際社会学部 兼任講師
- ヤフーニュース オーサー・公式コメンテーター
- 総務省・厚労省の複数の有識者会議 構成員・座長

1986年生まれ。博士（経済学・慶應義塾大学）。2020年より現職。専門は計量経済学、ネットメディア論、情報経済論等。

NHKや日本経済新聞等のメディアに多数出演・掲載。KDDI Foundation Award、組織学会高宮賞、情報通信学会論文賞（2回）、電気通信普及財団賞を受賞。主な著作に『ソーシャルメディア解体全書』（勁草書房）、『正義を振りかざす「極端な人」の正体』（光文社）、『なぜ、それは儲かるのか』（草思社）等がある。

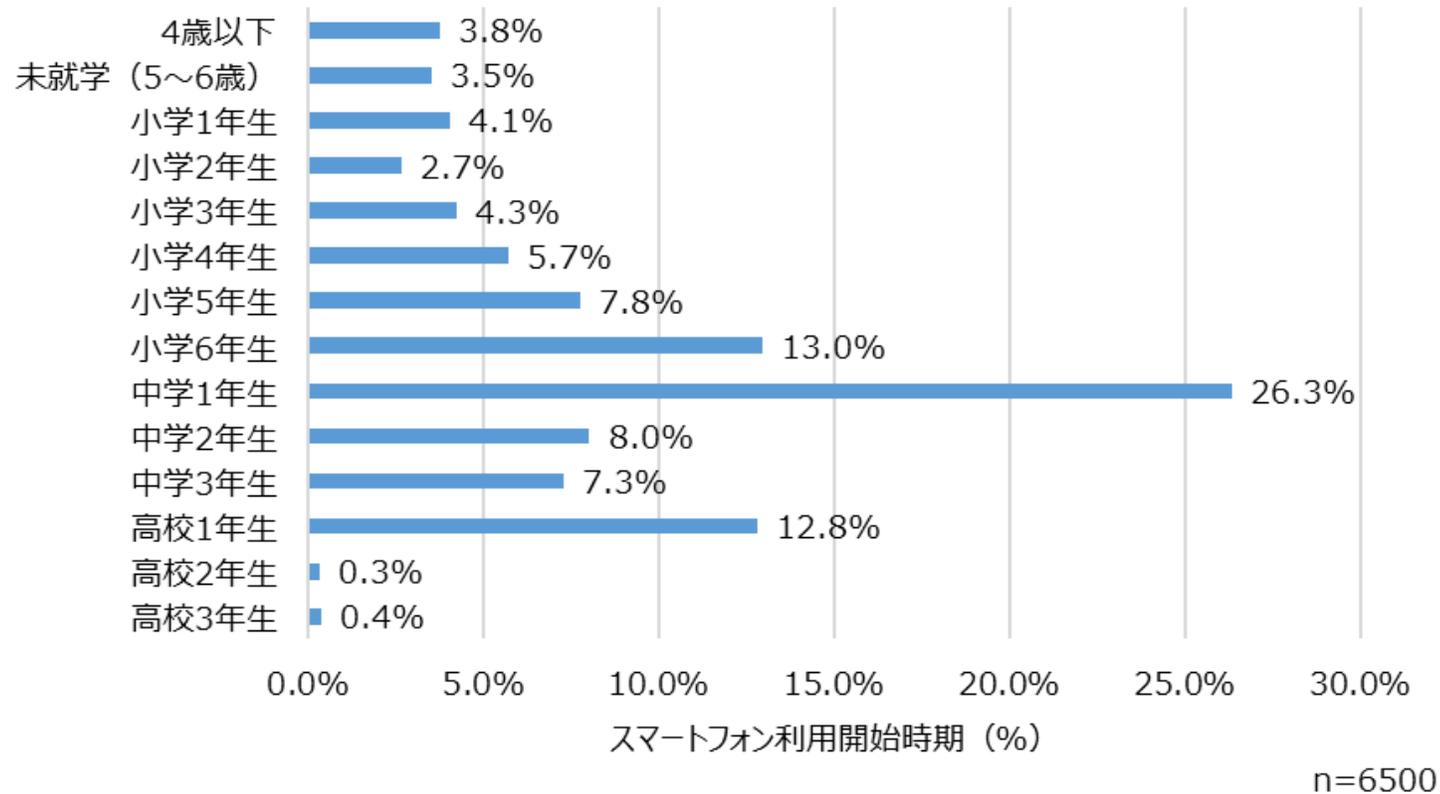


青少年の SNSトラブルの実態

1



スマホ利用の低年齢化

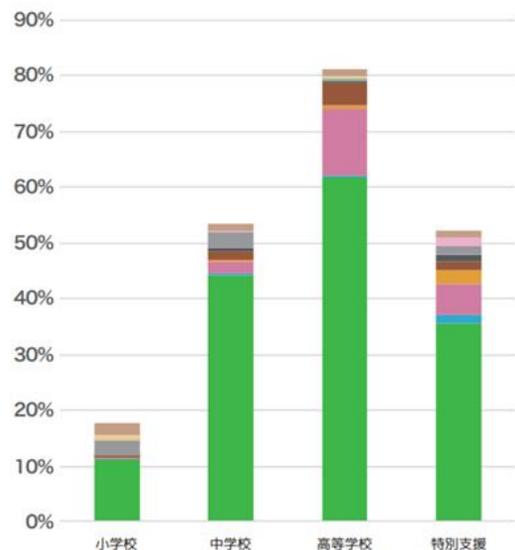


総務省と実施した「我が国における青少年のインターネット利用に係るペアレンタルコントロールに関する調査」より。
対象は未就学～高校生でスマートフォンを利用している青少年の保護者。均等割り付け。
https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01kiban08_03000375.html

ネットで様々なことが出来るように

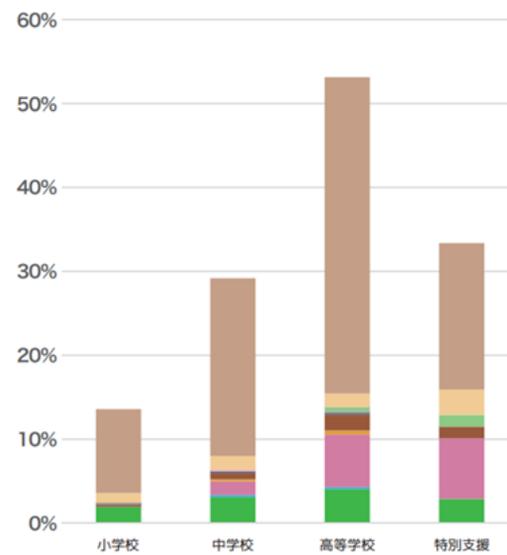
- 友達付き合いや勉強にSNSを活用している青少年が多い。

②携帯電話等のサービスを使うことで、離れ離れになった友達と仲の良い状態が続けられた



	小学校	中学校	高等学校	特別支援
この1年間経験していない	64.3%	35.9%	12.3%	34.2%
わからない	18.0%	10.8%	6.7%	13.7%
その他	2.3%	1.1%	1.2%	1.4%
YouTube	0.8%	0.2%	0.3%	0.0%
Classi	0.0%	0.1%	0.0%	1.4%
Studyplus	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
スタディサアプリ	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%
電子メール	2.7%	2.9%	0.6%	1.4%
SNOW	0.2%	0.4%	0.1%	1.4%
Instagram	0.1%	1.7%	4.2%	1.4%
Facebook	0.1%	0.4%	0.5%	2.7%
Twitter	0.2%	2.1%	11.9%	5.5%
KAKAOTALK	0.2%	0.2%	0.3%	1.4%
LINE	11.1%	44.2%	61.8%	35.6%
回答数	2,257	2,543	2,120	73

③携帯電話等のサービスを使うことで、勉強の調べ物がはかどった



	小学校	中学校	高等学校	特別支援
この1年間経験していない	42.1%	21.5%	13.2%	32.4%
わからない	20.4%	12.8%	9.4%	16.9%
その他	26.3%	42.7%	49.2%	22.5%
YouTube	7.1%	10.8%	9.9%	16.9%
Classi	0.0%	0.2%	0.3%	0.0%
Studyplus	0.1%	0.6%	1.1%	0.0%
スタディサアプリ	1.1%	3.0%	4.3%	0.0%
電子メール	0.3%	0.2%	0.0%	1.4%
SNOW	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Instagram	0.2%	0.2%	0.4%	4.2%
Facebook	0.3%	0.2%	0.2%	0.0%
Twitter	0.4%	1.4%	3.8%	1.4%
KAKAOTALK	0.0%	0.1%	0.2%	0.0%
LINE	1.6%	6.3%	7.9%	4.2%
回答数	2,262	2,548	2,029	71

設問：この一年間に、携帯電話等のサービス（LINEやTwitterなど）を使っていて、次のようなことはありましたか。

<https://d.line-scdn.net/stf/linecorp/ja/csr/report2018.pdf>

頻発するSNSトラブル①

1 グループトークでの友人とのトラブル

うっかり「？」をつけ忘れたために



Aさんは仲良しグループのトーク画面で、メッセージの最後に「？」をつけ忘れたまま送信してしまったことに気づかず、すぐにお風呂に入ってしまった。

一方的にグループから外されてしまった



お風呂上りにスマホを見ると、「ひどい！」などのメッセージが。誤解を解こうとしても、反応なし。**Aさん以外のメンバーは別グループを作り、Aさんを外したのです。**

頻発するSNSトラブル②



https://www.daj.jp/company/release/2020/0616_01/
https://www.daj.jp/cs/newswatch/161013_01/

頻発するSNSトラブル③

7 個人や学校などへの脅迫行為や犯行予告

嫌がらせを呼び掛ける投稿をして



日時・場所を指定して、「友人Hを袋叩きにしよう」とネットで呼びかけたKくん。もちろん、単なる嫌がらせのつもりで、**実行する気など全くありませんでした。**

投稿者が特定され、地域にも多大な迷惑



投稿を読んだ人が警察に通報し、警察はパトロールすると共に掲示板への書き込みの記録などを調査。Kくんの投稿と判明したことから、自宅に警察が……。

https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/kyouiku_joho-ka/jireishu.html

頻発するSNSトラブル④

12 投稿から個人が特定されたことによる被害

おいしい情報をシェアするつもりが



よく行くショッピングタウンでお気に入りのお店を見つけたOさん。親しい人たちに教えてあげようと、**位置情報オフで撮影した写真を投稿しました。**

知らない人に付きまとわれるようになった

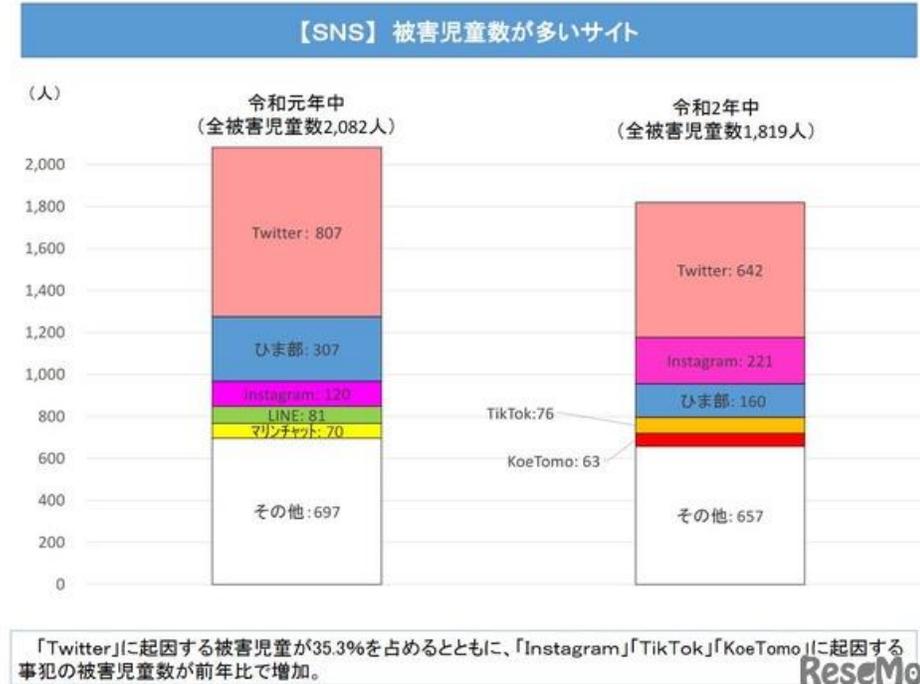
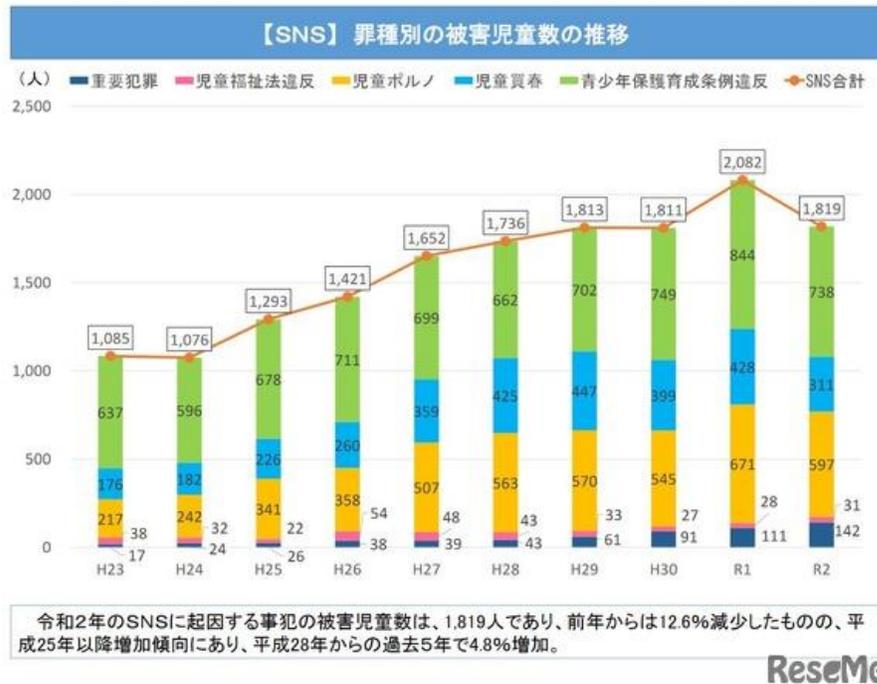


その後、誰かに後をつけられていることに気づきました。引き金は、Oさんが投稿した**写真の背景。場所がわかり生活範囲が特定されてしまいました。**

https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/kyouiku_joho-ka/jireishu.html

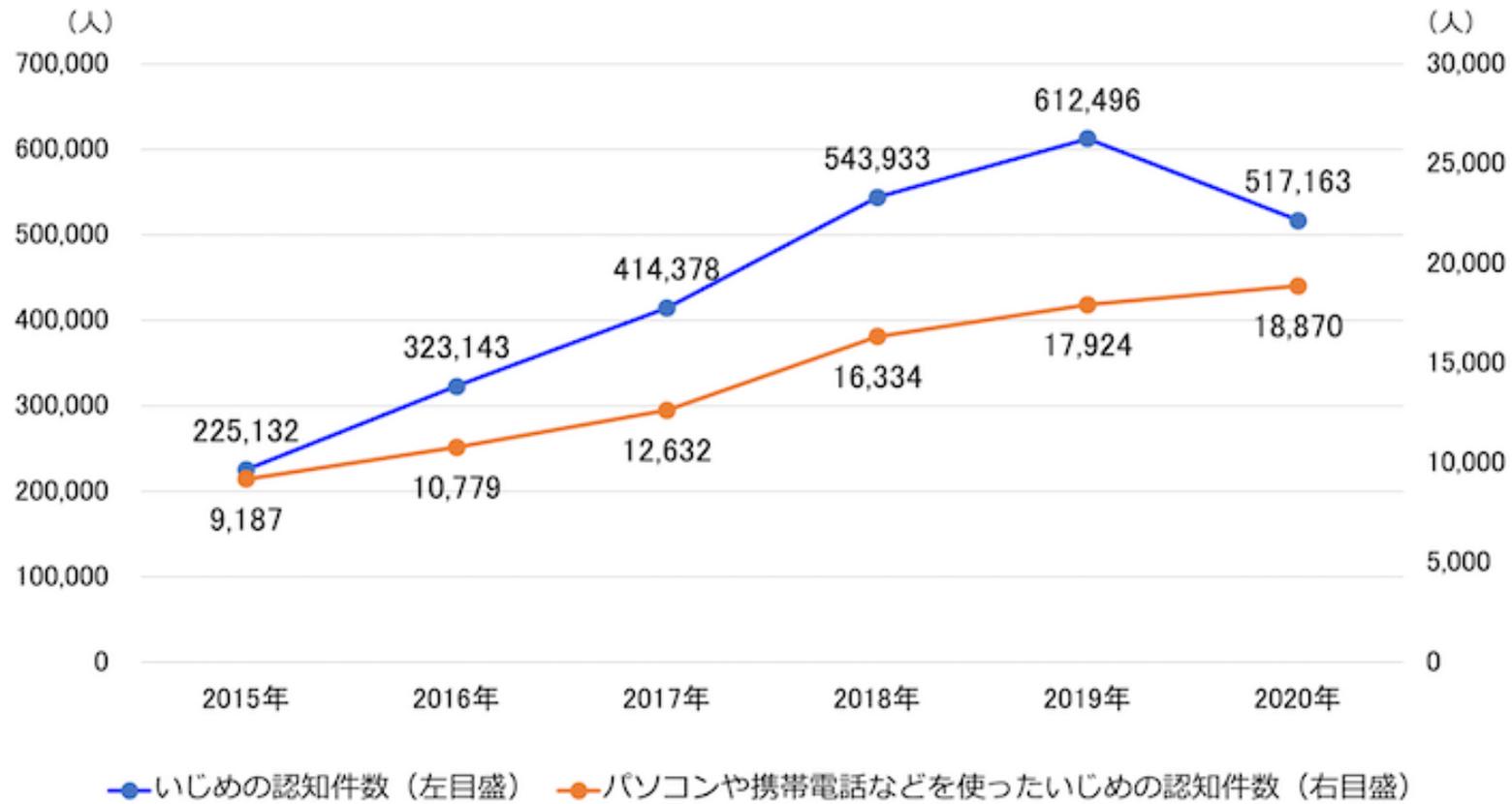
SNSトラブル件数は高止まり

- SNSに起因する事犯の被害を受けた青少年は1,819人（2020年）。
- 特にTwitterが多い。



<https://resemom.jp/article/img/2021/03/15/60976/278668.html>

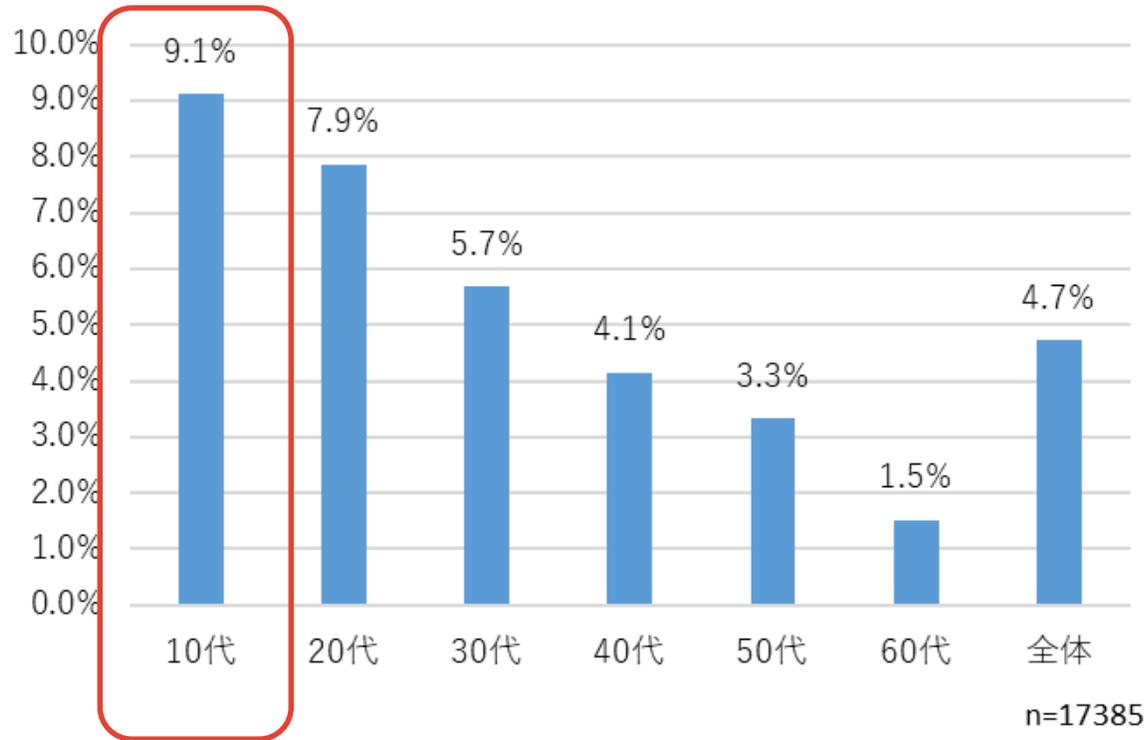
増えるネットいじめ



<https://www.nippon-foundation.or.jp/journal/2022/69071>

ネット誹謗中傷、青少年が被害に

過去1年以内の誹謗中傷経験率 (%)



Google Japanと実施している「Innovation Nippon 2022」の研究成果より作成。
※「10代」は15～19歳。

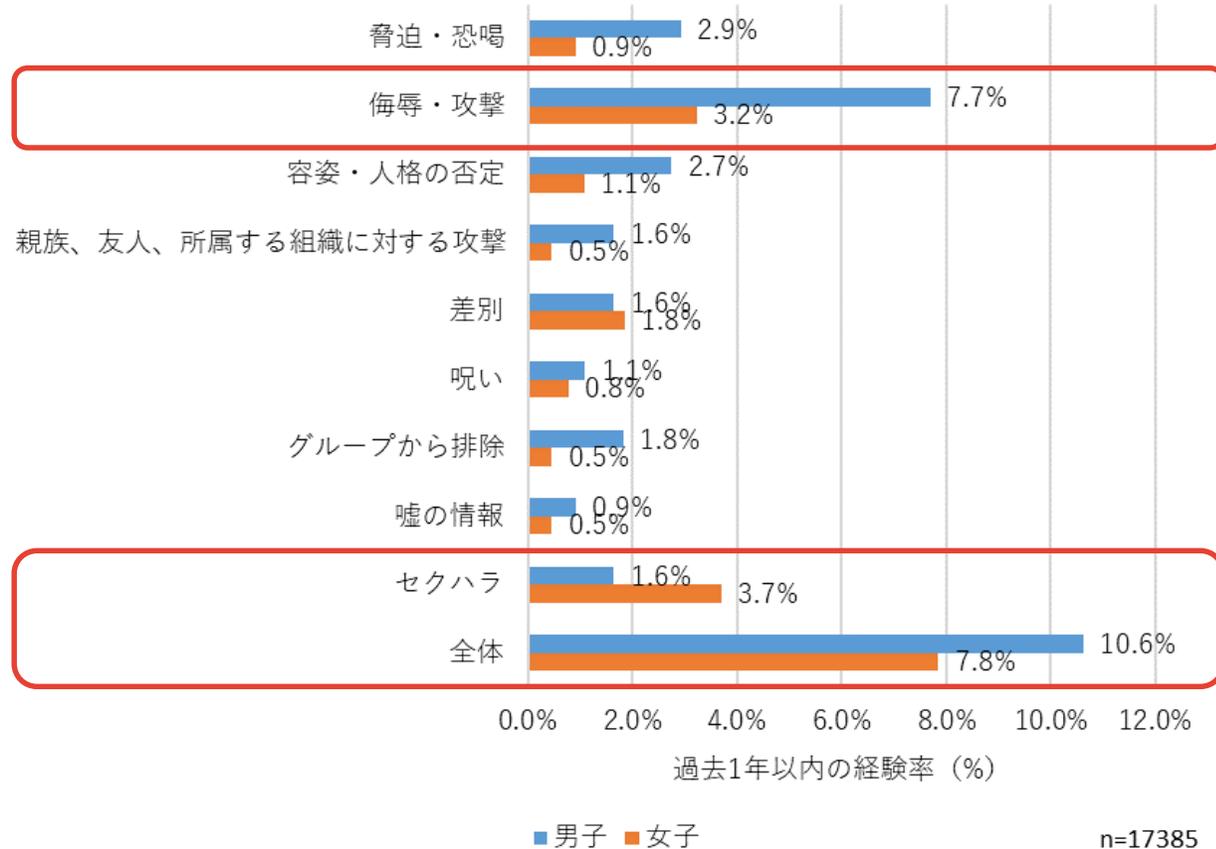
対象とした誹謗中傷

1. 「殺してやる」「絶対後悔させてやる」などの脅迫・恐喝に当たるような悪口
2. 「バカ」「きもい」などの侮辱的・攻撃的な言葉を含む悪口
3. 「猿みたいな顔」「性格が最低だ」などの容姿や人格を否定する悪口
4. 「あなたの親はクズだ」「お前の勤め先は腐っている」などの親族、友人、所属する組織に対する攻撃的な言動・悪口
5. 「女(or男)のくせに～」「●●人は全員いなくなれ」などの性別・人種・宗教・障害などに関する差別的な悪口
6. 「次しゃべったら、車にひかれてしまえ」などの不幸が降りかかることを願う、呪うような表現
7. 「もうこれ以上あなたの話は聞かない」などの社会的グループから排除するような表現
8. 「こいつは反社会的勢力とつながっている」などの嘘の情報を使った悪口
9. 「裸の写真を見せろ」「下着の色教えて」などの性的な表現や画像の要求、画像の送信（セクハラ）

対象サービス

- Twitter
- Instagram
- Facebook
- TikTok
- YouTube
- ネットニュースのコメント欄

「侮辱・攻撃」「セクハラ」が多い



- 全体では男子の経験率が高い。
- 「侮辱・攻撃」と「セクハラ」経験率が高い。前者は男子が多く、後者は女子が多い。

青少年のSNS利用と 性被害

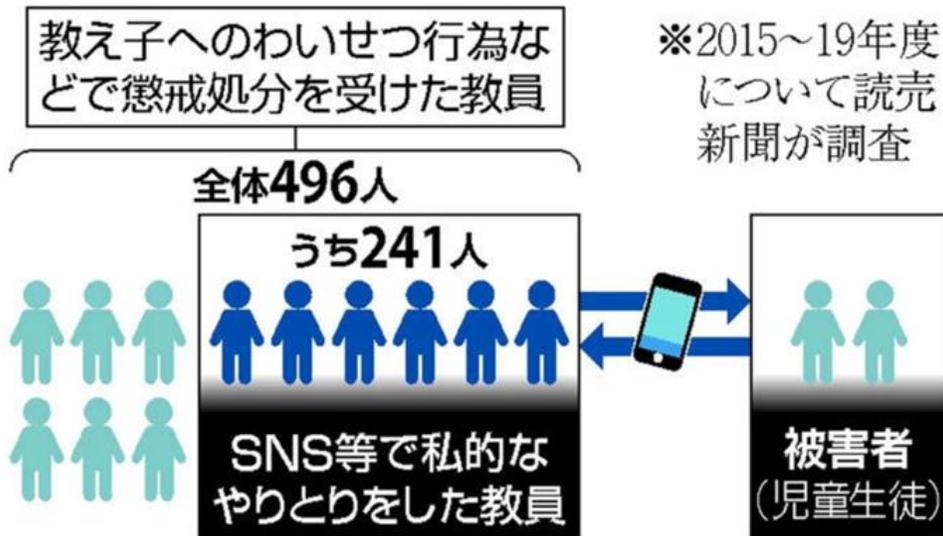
2



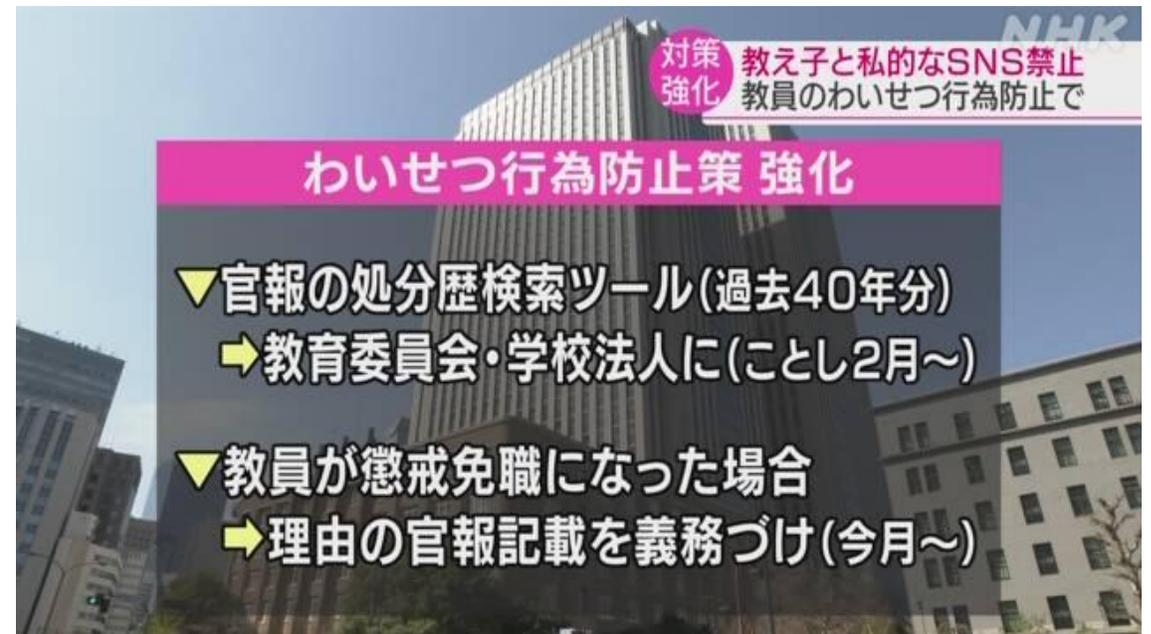
SNSと性被害の現状：教育現場

- わいせつ行為で懲戒処分を受けた教員の半数がSNSを悪用していた。
- 文科省は、教員がSNSで教え子と私的なやり取りをすることを禁止に。

◆教員のわいせつ行為でのSNS等の利用



<https://www.yomiuri.co.jp/national/20201011-OYT1T50046/>



<https://www.nhk.or.jp/politics/articles/lastweek/57837.html>

SNSと性被害の現状：性的な画像の要求

- 有名人の知人などになりすまして親密な関係に。
- 打ち明けられた秘密をもとに脅迫し、性的な画像を要求。

2 自画撮り写真の交換に端を発した脅迫被害



https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/kyouiku_joho-ka/jireishu.html

SNSと性被害の現状：パパ活をきっかけ

- SNSを通じたパパ活で、出会った相手に睡眠薬を飲まされる。

14 コミュニティサイトなどでの未成年によるアプローチ

お小遣い欲しさに投稿したら



※ SJKは「セカンド女子高生(高校2年生)」を指す隠語

お小遣い稼ぎに軽い気持ちで「**パパ活相手募集**」のメッセージをSNSに投稿したSさん。食事に行くことになり、家族に黙ってでかけました。

連れて行かれそうになった

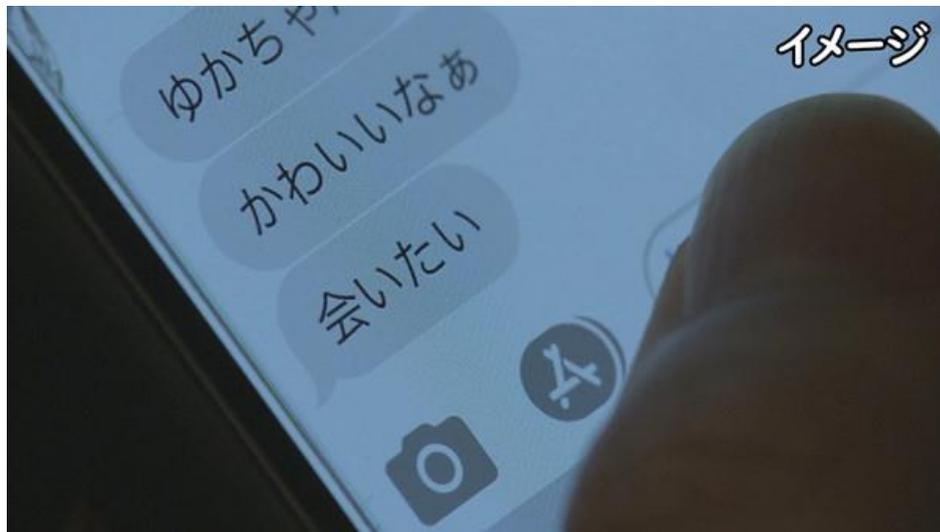


食後気分が悪くなり、急に眠くなって…異変に気づいた店員に助けられました。Sさんの離席中、**パパ活相手が睡眠薬を飲み物に入れた**ことが原因でした。

https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/kyouiku_joho-ka/jireishu.html

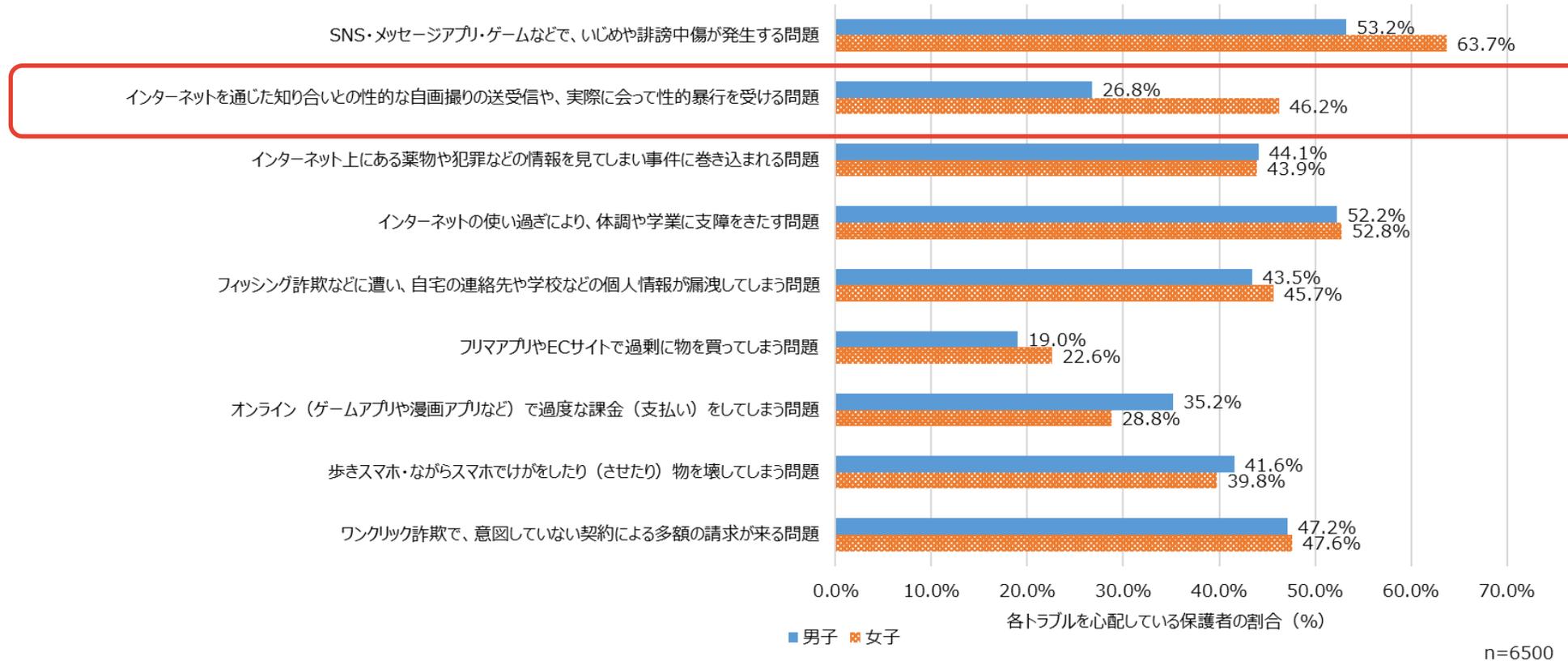
SNSと性被害の現状：グルーミング

- SNSで知り合った年上の男性と出会い、カラオケ店に連れ込まれる。
- 男性に好意を抱きながらも、親に相談できないというしるめたさ。
- 優しい言葉や甘い言葉を使いながら性的な目的で子どもを手なずけ、心理的にコントロールする行為を「グルーミング」という。



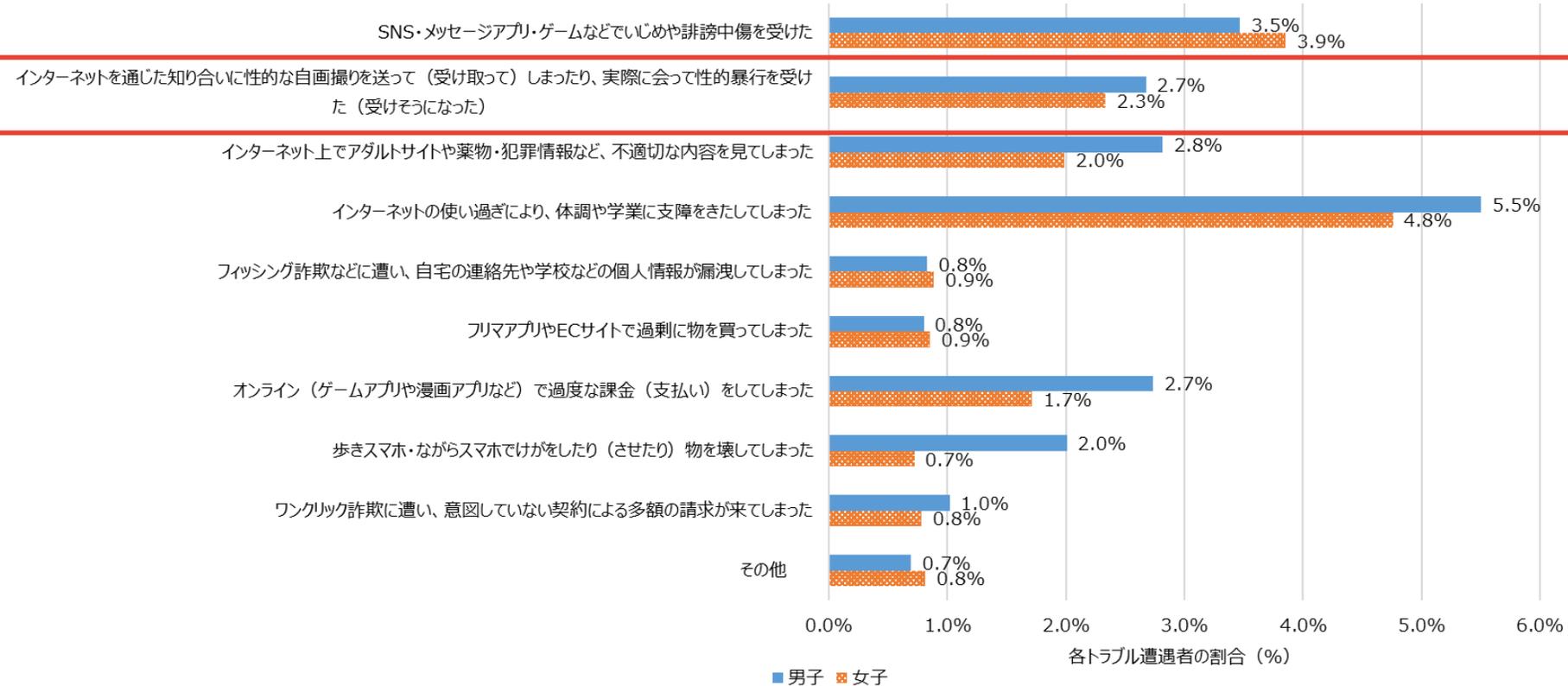
<https://www.nhk.or.jp/gendai/comment/0026/topic039.html>

性被害、心配する親は多くない



総務省と実施した「我が国における青少年のインターネット利用に係るペアレンタルコントロールに関する調査」より。
対象は未就学～高校生でスマートフォンを利用している青少年の保護者。均等割り付け。
https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01kiban08_03000375.html

性被害、遭遇率は高い



総務省と実施した「我が国における青少年のインターネット利用に係るペアレンタルコントロールに関する調査」より。
対象は未就学～高校生でスマートフォンを利用している青少年の保護者。均等割り付け。
https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01kiban08_03000375.html

青少年をSNSの 被害からどう守るのか

3



様々なトラブルからどう守るか



1. 画像をばらまくぞ！（自撮り画像で脅迫）

インターネットで知り合った相手に「体型の悩み」の相談をしていたところ、「裸の自撮り画像を交換しよう」と持ちかけられ…相手を信じて送信すると、「画像をばらまくぞ!」と態度が豹変。実は、相手は同性・同世代を装って近づいてきていたのです。このように、脅され、誰にも言えず苦しんでいる子どもがいます。

2. 突然請求された！（子どもを狙う架空請求）

スマホの画面に突然「お申込み完了」「今月は99,850円です」という表示が！慌てて連絡すると、「分割払いでもOK」「上司に頼んで値引きしてもらったよ」と親身に対応され、信用してお金を振り込んでしまいました。もちろん詐欺です。最近は成人だけではなく、未成年もネット詐欺のターゲットになっています。



3. アダルト動画を見たばかりに…！（有料サイト・詐欺サイトへの誘導、ウイルス感染）

ネット上のアダルト動画には違法コンテンツが多く、知らぬ間に有料サイトや詐欺サイトに誘導されるケースもあります。画面を開いただけでウイルスに感染する悪質なサイトも。誰にも相談できず一人で悩んでいる子どもがいます。

https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/special/filtering/

青少年を守る3つの方法

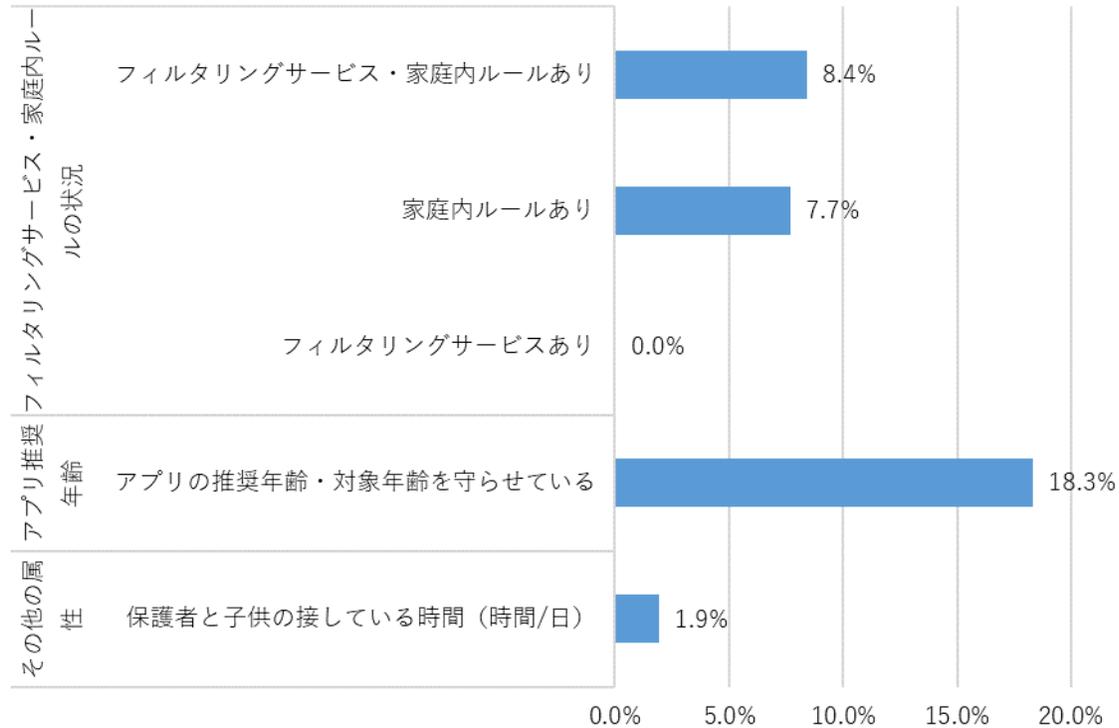
1. 家庭内ルール作りとフィルタリングサービス利用を両方行う
2. アプリの推奨年齢・対象年齢を守らせる
3. 子供と良くコミュニケーションをする



画像出典：https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/d_syohi/seishonen.html

3つの方法でトラブルに遭遇しにくく

※以下の回帰分析モデルで検証



$$\begin{aligned} \text{Logit}[P(\text{Trouble}_i = 1)] &= \log\left(\frac{P[\text{Trouble}_i]}{1 - P[\text{Trouble}_i]}\right) \\ &= \alpha + \beta_1 \text{Rule_Fil}_i + \beta_2 \text{App_age}_i + \gamma_1 \text{App}_{it} + \gamma_2 \text{Smartphone}_i \\ &\quad + \gamma_3 \text{Characteristics}_i \end{aligned}$$

ただし、各記号は以下を指す。また、モデルはロジットモデルとなっている。

- Trouble_i : 保護者*i*が、長子のスマートフォンでのインターネット利用に関してトラブル遭遇経験がなければ1とするダミー変数。
- $P(\text{Trouble}_i = 1)$: $\text{Trouble}_i = 1$ となる確率。
- Rule_Fil_i : 保護者*i*の家庭内ルールとフィルタリングサービス利用を表すベクトル。図表4.25の4分割に沿っており、「家庭内ルールあり・フィルタリングサービスあり」「家庭内ルールあり」「フィルタリングサービスあり」「家庭内ルールなし・フィルタリングサービスなし」の4種類となっている。実際の分析においては「家庭内ルールなし・フィルタリングサービスなし」を基準とする。
- App_age_i : アプリの推奨年齢・対象年齢を確認したうえで守らせていれば1とするダミー変数。 Rule_Fil_i と同様、保護者による青少年のインターネット利用管理に関する変数。
- App_i : 各アプリを利用していれば1とするダミー変数のベクトル。
- Smartphone_i : スマートフォン利用形態ベクトル。図表2.3の区分に従っており、「専用」「兄弟共用」「親と共用・親の前のみ」「親と共用」「その他」「わからない」の6つある。実際の分析においては「わからない」を基準とする。
- Characteristics_i : 個人*i*とその子供に関する属性のベクトル。具体的には、「同居している子供の数（人）」「子供の年齢（歳）」「子供の性別」「子供のスマートフォン利用時間（時間/日）」「保護者と子供の接している時間（時間/日）」「保護者のスマートフォン利用歴（年）」である。
- $\alpha, \beta_1, \beta_2, \gamma_1, \gamma_2, \gamma_3$: それぞれのベクトルにかかったパラメータ。この内、 β_1, β_2 は青少年のICT利用に関する管理とトラブル遭遇の関係を示す。

総務省と実施した「我が国における青少年のインターネット利用に係るペアレンタルコントロールに関する調査」より。

対象は未就学～高校生でスマートフォンを利用している青少年の保護者。

https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01kiban08_03000375.html

どんな家庭内ルールが必要？

01 いじめ、誹謗中傷が心配…
「大人は頼れる」を伝えよう！
裏面 01へ

02 自撮り被害、わいせつ犯罪に巻き込まれてない？
「信頼できる知人以外とやり取りしない」がポイント！
裏面 02へ

03 架空請求、個人情報の漏洩、どうすれば…
「知識とウイルス対策ソフト」で対抗！
裏面 03へ

04 やりすぎ、使い過ぎ、やめられない…
「このルールはなぜ作る？」の意識共有が成功のカギ！
裏面 04へ

05 課金、フリマ、通販…支払いは大丈夫？
「設定と正しい年齢登録」で安心を！
裏面 05へ

このリーフレットは、お子さんのスマホ利用に安心保護者の方々向けのものです。

ご家庭でできることはこれ！

01 いじめ、誹謗中傷が心配…
日頃から「私たちは味方、大人は相談先を知っている」と伝え続け、一人で抱え込ませない
人を傷つける投稿、嫌な気持ちにさせる投稿はしないなど、加害者にならないための約束を

02 自撮り被害、わいせつ犯罪に巻き込まれ
「誰にでも起きること、私は怒らない」というメッセージをママに発信、相談できる関係を
性的な自撮りをしない、友達登録やメッセージ送信は信頼できる知人のみ、などのルール作りを

03 架空請求、個人情報の漏洩、どうすれば…
「架空請求」で、本当に支払いが必要となるケースはほぼないので**焦らない**
自分や友人が**特定される情報は投稿しない**ルールを
ウイルスを使った詐欺に備え、セキュリティソフトを導入

04 やりすぎ、使い過ぎ、やめられない…
利用時間、利用をやめる時刻のルール決めを
勉強時間や睡眠など「**すでに起きている弊害**」を解決するためには？どうすれば良い？という視点で話し合いを

05 課金、フリマ、通販…支払いは大丈夫？
未成年の課金制限があるサービスには、正しい**年齢を登録**して金額上限を有効化
お金についての「**約束事**」をしっかりと決める

総務省と作成したリーフレットより。
https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01kiban08_03000375.html

持続可能な家庭内ルールのやり方

1. 購入時に約束をして、守らないと使えなくなる。
2. 限定した（ほどほどの）約束。

※20名の青少年保護者を対象としたヒアリング結果より



<https://elementaryschool-programming.com/promise/>

“依存”ではなく上手に使おう 子どもとスマホの関わり方

防犯対策や居場所の確認、連絡手段に必要ななどの理由から、小学生など子どもにもスマートフォンを持たせる家庭が増えました。今、家で過ごす時間が増え、「子どもたちはスマホの画面ばかり見ている」と気にしているお母さん、お父さん。依存を防ぐためにも、今一度子どもとスマホの関わり方を考えてみませんか。



<https://bit.ly/3Y3eFfW>

チェックしてみよう！

マイルールチェックリスト

①利用時間

平日 総利用時間 特になし、5、4、3、2、1時間
利用時間帯 ()時～()時
()時～()時

休日 総利用時間 特になし、5、4、3、2、1時間
利用時間帯 ()時～()時
()時～()時

②利用場所

リビング 子ども部屋 友人の家
買い物の場所 出かけ先
その他 ()

③受信相手

家族内 親戚親類 友人
先輩、後輩 特に制限なし
その他 ()

← 上記はチェックリストの一部です
全文はウェブサイトからダウンロードを(2頁参照)

フィルタリングサービスって？



フィルタリングサービスとは

有害・違法情報を
遮断できる！

アプリの利用を
把握できる！

利用時間を
管理できる！



サービスの総称です。お子さまが安全にインターネットを使い、保護者が安心して見守るための機能となります。フィルタリングによる制限は、段階的に調整できるので、お子さまの成長に合わせた見守りが可能です。また、アプリ単位で閲覧や使用の可否を個別に設定（カスタマイズ）することができます。

- ※1 犯罪、暴力、詐欺、アダルト、実況版といった違法・有害情報サイトへの接続や年齢に満たないアプリの利用を阻止できます。
- ※2 どんなアプリを使っているか確認できます。インストールを許可することも可能です。
- ※3 アプリ毎の利用時間を確認できます。利用制限を設けることも可能です。

※一般的なフィルタリングサービスについて紹介したものであり、各社提供のフィルタリングサービスによって詳細が異なる場合がございます。

フィルタリング設定は簡単 4 ステップ

Step
1



保護者とお子さまの端末で
アプリをダウンロードする

Step
2



初期設定をする

Step
3



モードを選んで
(小学生・中学生・
高校生・高校生プラス)

Step
4



アプリ毎の利用制限や
利用時間の制限を
カスタマイズするだけ

※一般的なフィルタリングサービスについて紹介したものであり、各社提供のフィルタリングサービスによって詳細が異なる場合がございます。

総務省と作成したリーフレットより。

https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/special/filtering/

「見守りサービス」も

フリー
filiiでできること




SNSで繋がっている人が分かります
つながり分析では、様々な分析結果とフィルタにより、どんな友達がいるのかを把握できます。


危険なメッセージをアラート通知で伝えます
アラート分析では、危険なメッセージをアラート通知で伝えます。アラート分析では、SNSでつながっている人から犯罪やいじめに繋がりがちな危険なメッセージなどを受け取った場合に、保護者様にアラートでお知らせをします。

ID : 401476
🕒 発生日時 : 2016年10月14日
📁 カテゴリ : 暴力
👤 対象人物 : Taro (スマホ LINE) 📱
💬 注目語句 : 殴る

🚩 📝 🔍 詳細を見る ▼

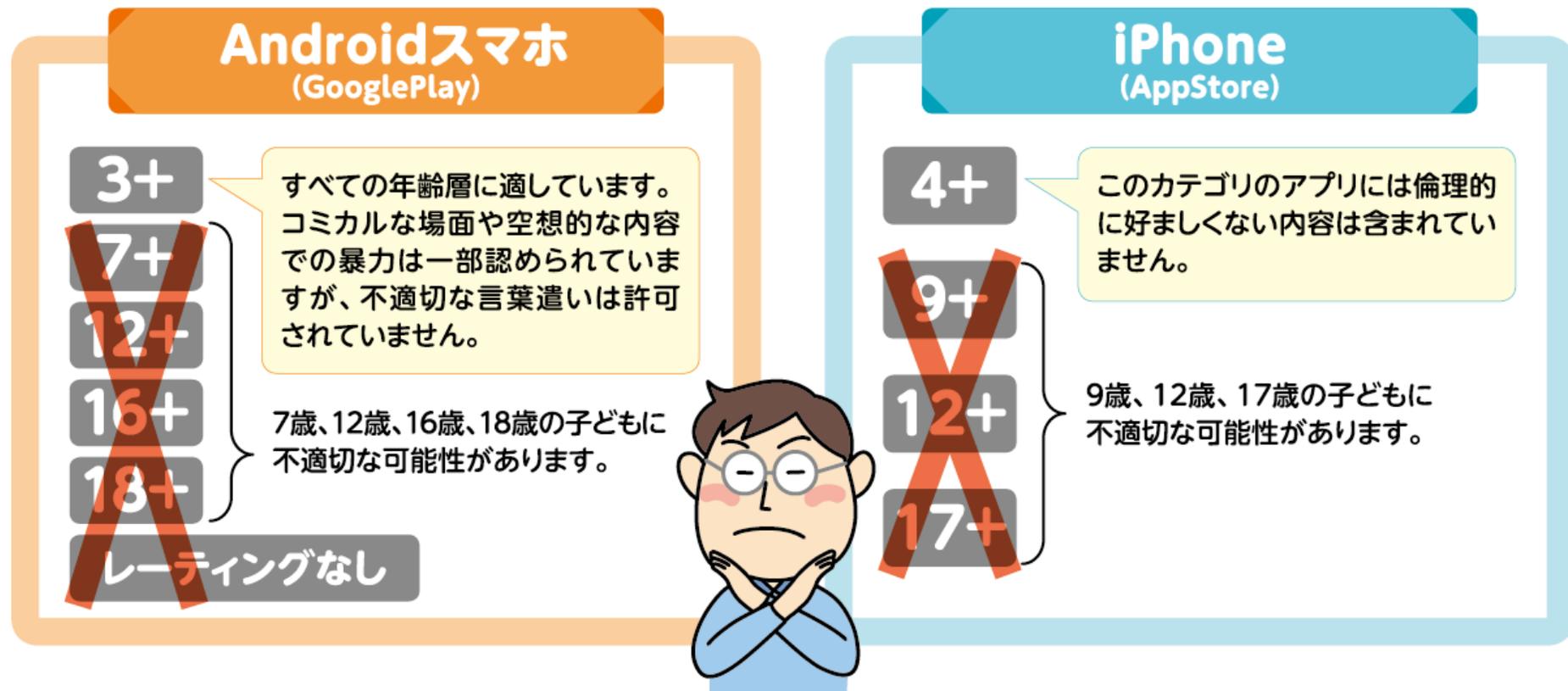



アプリの利用状況が分かります
アクティビティ分析では、SNSやアプリの利用傾向がわかるので、使いすぎの防止などに役立ちます。

<https://www.filii.net/>

推奨年齢（レーティング）って？

▶市販のゲームソフトや映画と同様、アプリや動画にもレーティングがあります。



https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/preschool/kokorogake/4/

コミュニケーションで把握・相談

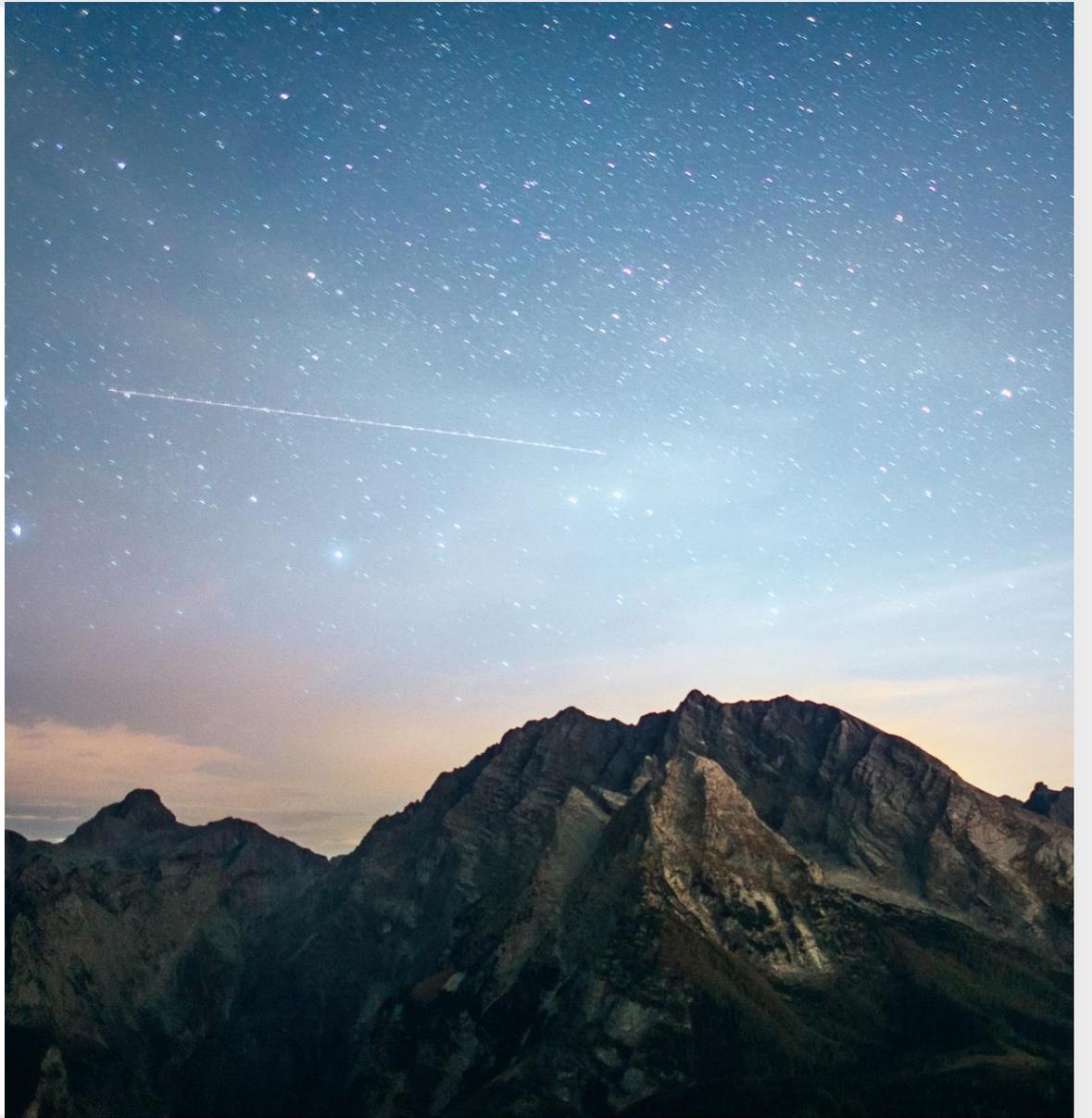
- 親子でコミュニケーションをすることで、今ネットで何をしているか、何かトラブルや悩みが発生していないかなどを把握できる。
- 普段からコミュニケーションしていることで、いざトラブルが発生した時にすぐに相談してくれる。



<https://www.ojyuken-kyoukai.com/oyakonokomyunike-syonn/>

最後に

4



活用の大切さ

- 「ネットやスマートフォンは危険な道具だから使わせない」は誤り。
- 適切に活用すれば、新たな知識を身に着けることに役に立ち、様々なスキルが身に着く。
- むしろこれからの人生において、うまく活用できることは必須スキル。

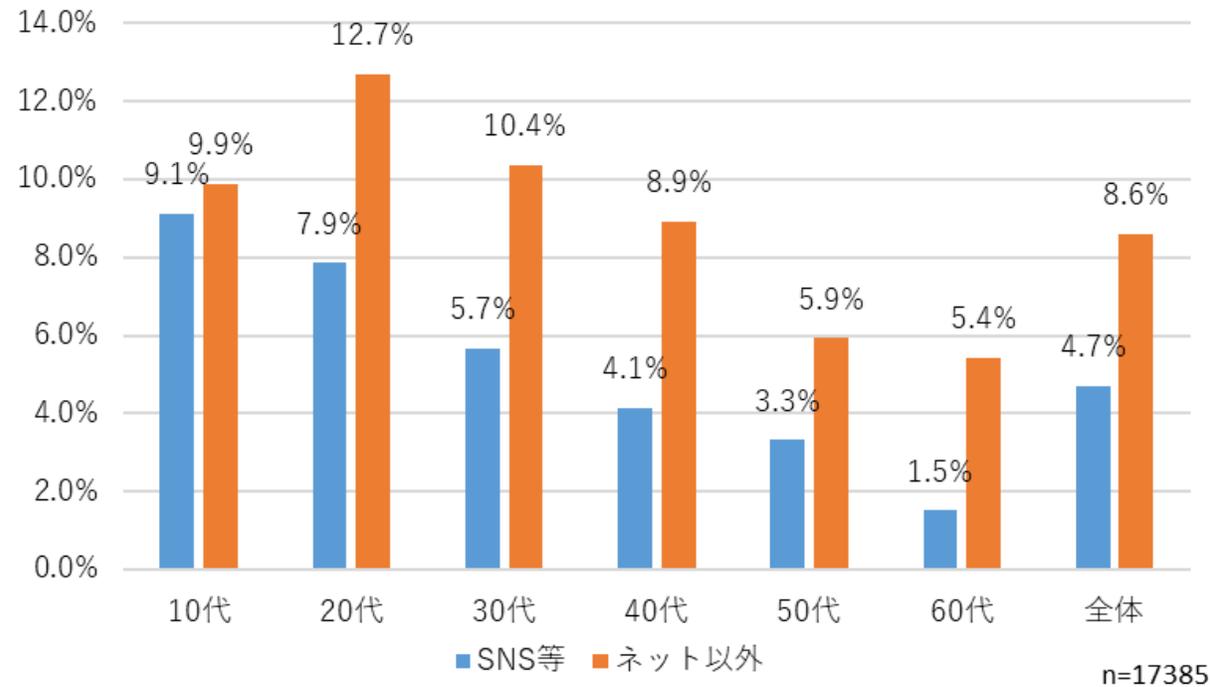


<https://harigamiya.jp/item/do-not-use-smartphone.html>

「ネットだけが問題」ではない

- デバイスのせいにしていても何も解決しない。

過去1年以内の誹謗中傷経験率 (%)



Google Japanと実施している「Innovation Nippon 2022」の研究成果より作成。

正しく怖がり、正しく使う

適切なルール作り・見守り・コミュニケーションで

ポジティブな活用を

ご清聴ありがとうございました